

3 調査の内容

(1) 教科等

実施学年	調査の内容	
小学校4年生から6年生	国語・算数	質問調査
中学校1年生	国語・数学	
中学校2年生から3年生	国語・数学・英語	

※出題範囲は、調査を受ける前の学年までに学習した内容になります。
(例えば、小学校4年生の問題は小学校3年生までに学習した内容です。)

(2) 調査のスケジュール

実施日 令和5年5月8日(月)から24日(水)

結果の返却 令和5年8月以降を予定

4 家庭での調査結果の活用法 「伸び」が見えると「意欲」が高まります！

一人一人が自分の成長を実感する！



自信と
学習意欲の
醸成に
つながります

家庭では調査の結果をどのように使って、子供の力を伸ばしていくとよいですか。

家庭では調査の結果を見て、次のような取組を行うと効果的です。

STEP1

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握することが大切です。

調査では、学習した内容が「どれだけ身に付いているのか」がわかります。毎年調査を受けることで「学力の伸び」も見ることができます。結果を見て、お子さんの現在の学力を知り、それをどれだけ伸ばしていくかということが大切です。学校の先生と話し合いながら、お子さんのよさを伸ばしましょう。

STEP2

一人一人のお子さんに合った「目標の設定」が重要です。

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握したら、それぞれのお子さんに合った目標を立てることが重要です。

STEP3

「家庭学習の習慣化」が必要です。

目標に向けて学力を伸ばしていくためには、家庭学習を習慣化していく必要があります。学習する内容は、学校の授業の予習・復習を中心に行うとよいでしょう。

学習の成果は、毎年調査を受けることで「学力の伸び」を見て確認することができます。

※家庭での規則正しい生活習慣を身に付けさせるためには、どのようにすればよいですか。

調査結果では、テレビゲーム等について「家の人と約束を決めている」と回答したお子さんは、長時間テレビゲーム等を行うことが少なく、家庭学習の時間を確保している傾向が見られました。テレビゲーム等を行う時間について約束するときは、ただ約束を決めるのではなく、「なぜ約束するのか」その必要性についても確認することで、お子さんが主体的に約束を守ろうとする態度を育むことにつながります。学校の先生のアドバイスや調査結果を参考に、お子さんと一緒に規則正しい生活習慣のためのルール作りをしてみるとよいでしょう。